

# 設計革新セミナー開催のご案内

第405回（2008年9月度）例会

主催：東京設計管理研究会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当研究会に対しまして、格別のご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、標記のセミナーを下記要領にて開催いたしますので、ご多用のことと存じますが、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、セミナーへの出欠の確認をさせていただきますので、出欠につきましては、別紙「セミナー参加申込書」にご記入の上、FAX又は電子メールにて8月20日(水)必着で、担当幹事までご連絡のほどお願いいたします。

敬具

## 記

1. 日 時 : 2008年 9月 10日 (水) 14:00 ~ 17:00

2. 開催場所 : 株式会社 トプコン 10号館6階 PH-C  
〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1  
TEL 03-3558-2552  
FAX 03-3966-0277  
URL <http://www.topcon.co.jp/corporate/map.html>

開催担当 : 株式会社 トプコン 牛房 寛 様

## 3. プログラム

① 会長挨拶 (14:00~14:15)

② 工場見学 (14:15~15:30)

a. トプコン 工場見学 (14:15~15:00)

b. トプコン ショールーム見学 (15:00~15:30)

《 休 憩 》 (15:30~15:45)

③ トプコン会社紹介と技術関連システム紹介 (15:45~15:55)

(発表者) 株式会社トプコン 技術開発グループ 開発支援部 牛房 寛 様

**強力なアライアンスの誕生！ あなたの身近なパートナーTEAC！！)**

④ 発表： (15:55～16:45)

(テーマ) 株式会社トプコンにおける  
上流から下流まで一貫したソフトウェア開発プロセス改革

(発表者) 株式会社トプコン  
技術開発グループ 開発支援部 大木 雅彦 様

(発表概要)

1. 現場と腕組む草の根 S P I を構想
2. 改革を推進するにはスタッフの意識改革が肝要
  - (1) フットワーク軽く現場を駆けめぐること
  - (2) 信頼されるスタッフであること
  - (3) 技術の専門家であること
3. 上流から下流まで一貫したソフトウェア開発プロセス改革の施策紹介
4. 品質指標としての検証ツール活用事例紹介
  - (1) 静的解析ツールの活用
  - (2) 動的解析ツールの活用
  - (3) パフォーマンス分析ツールの活用
  - (4) 信頼度成長曲線の活用

⑤ 質疑応答 (16:45～17:00)

※ セミナー後、有志参加による懇親会（有料）を予定しておりますので、ご都合がつかますならばご参加ください。（セミナーの休憩時間に参加希望者を確認させていただきます。）

以上

9 月度担当幹事：

日本ユニシス株式会社  
SW&サービス本部リレーションマネジメント統括プロジェクト  
谷尾 誠  
住所：〒135-8560 東京都江東区豊洲 1-1-1  
TEL：03-5546-3266  
FAX：03-5546-7846  
E-mail：makoto.tanio@unisys.co.jp

強力なアライアンスの誕生！ あなたの身近なパートナーTEAC！！)

## 2008 年 9 月 度 東京 EAC 設計革新セミナー申込書

東京設計管理研究会 9 月 度 担 当 幹 事  
日本ユニシス株式会社 A12-N  
SW&サービス本部リレーションマネジメント統括P 谷尾 誠 行き  
FAX: 03-5546-7846  
E-mail: makoto.tanio@unisys.co.jp

2008 年 9 月 度 東京 EAC 設計革新セミナーに :

出席します

欠席します

会社名 :

出席者名 :



ルート 1 都営地下鉄三田線 本蓮沼駅より 徒歩約 10 分

ルート 2 JR 赤羽駅西口より

国際興業バス 約 10 分(料金 210 円)

のりば (3) ときわ台駅行 赤羽西六丁目より徒歩約 1 分

のりば (2) 蓮沼循環 赤羽西六丁目より徒歩約 1 分

のりば (1) 高島平操車場行 赤羽西六丁目より徒歩約 1 分

強力なアライアンスの誕生！ あなたの身近なパートナーTEAC！！)